

令和3年度 学校評価 学校関係者評価

学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・「学習内容がよくわかるようになってきた」と自信をもって答えた生徒が16%は正直少ないと感じた。学習内容も、日々難しくなっていくと思うが、40%以上を目標に取り組んでいただきたい。 ・目標数値には届いていないが、個人差があるので継続して取り組んでもらいたい。 ・「自信を持って思う」と答えることは難しいと思われるが、少しでもそう思う生徒を増やしてもらいたい。 ・「思う」と答える数値が40%というのはいは、目標が少し高いのかもしれませんが。「思う」「どちらかというと思う」を合わせると90%というのはいはすばらしい結果だと思ひます。 ・生徒と保護者間でギャップが生まれていいる。保護者はテストの点数や成績などの目に見える結果を求めているのではと思ひます。 ・先生の指導の成果か、授業の内容がわかる生徒が多くを占めているのは良い傾向である。
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・16%のできていない要因をはっきりさせることが大切だと思ひます。今後はその要因に対して重点的に取り組んだら改善する可能性があるとと思ひます。 ・84%でも高い割合だと思ひますが、地道に指導していただき、より一層の学力向上を期待します。 ・概ね達成できている数値と思ひれる。 ・子供は自分の部屋で学習していいるので、学習時間を正確に把握できていないのが現状である。引き続き学習時間の定着を目指して取り組んでいただきたい。 ・家庭学習は家庭環境の影響が大きいので、家庭への働きかけを進めてほしい。
道徳・ 人権教育	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でマスクの影響もあり、声はこもりがちで表情もわかりにくいと思ひれる。しかし、あいさつは基本であり、気持ちのいい元気なあいさつを心がけてほしいと思ひます。 ・引き続き継続して目標を達成してほしい。 ・挨拶は社会人になっても当たり前にするべき基本的なマナーです。今のうちに身に付けさせることを強くお願いします。 ・挨拶ができなければ就職時の面接で即不合格になります。 ・あまりできていない生徒は、ほぼ特定できると思ひますので、少しでもできたときは褒めるといいうのも方法かと思ひます。 ・引き続き継続して目標を達成してほしい。 ・できていない生徒にとっては少しハードルが高いことがあるかもしれませんが、少しでも向上したら認める、称賛することが効果を発揮するかもしれません。 ・思春期にはあいさつをしない子供が多いと思ひれる中で、保護者75%、教員83%は良い数値と考えられます。 ・あいさつが多くの割合の生徒ができていいるのはよい傾向であり、学校へ行った時あいさつをしてくれる。
特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒と先生のコミュニケーションを密にし、相談しやすい環境作りを心がけてほしい。保護者と学校の連携も重要である。 ・生徒の答えが100%になっていない以上、保護者の見えていない所でいじめが発生している可能性がある。直接聞いても答えない生徒はいると思ひるので注意深く確認してほしい。 ・限られた小さな地域での数少ない同級生は、皆親戚のような関係であり、一生の付き合いができるような関係を築いてほしい。 ・今後も100%を目標に粘り強く教育活動を推進してください。 ・いじめ問題は数値で測れるものではないと思ひます。たとえ100%でも目に見えにくいトラブル等がないか常に注意してもらいたい。 ・いじめが少なく、いい雰囲気学校だといいうことがわかる。
健康・安全指導	<ul style="list-style-type: none"> ・子供は年頃といいうこともあり、学校での学習内容などを家で話すことは少なく、道徳で学んだことなどは特に聞いたこともない。でも実は何よりも重要な学習であり、これからは家族でも機会を見つけ話し合う場を持つようにしたい。 ・学年だよりや学校新聞などを話のきっかけとして活用したい。 ・引き続き継続して目標を達成してほしい。学校は頑張っていると思ひます。 ・思いやりや感謝といいうた道徳性は、日本人が持っているすばらしい特徴の一つだと思ひますので引き続き指導してほしい。 ・「自分の生き方を見つめる」といいうのは、かなりハードルが高いですが、結構できていいるように思ひます。下学年はなお難しいかもしれませんが、道徳の授業だけで自分の生き方を見つめることは難しいと思ひます。日々の積み重ねの中でそうなれるよう、長い目で見守ることが必要だと思ひます。
開かれた学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、個性や特性に応じた指導・支援に取り組んでいただきたい。発達障害に関する情報等を発信してほしい。 ・良い結果がでたとと思ひます。引き続き継続してほしい。特別支援教育の支援・指導が計画的にできていいると思ひます。 ・自分ができることは、皆もできると考えていいる人が多いかと思ひますが、それは大きな間違いで個々の能力の違いをしっかりと認識しておくことが一番基本的な考えのスタートかと思ひます。 ・先生方の努力が実を結びつつあるといいうことですので、今後も継続してほしい。 ・個々の生徒ごとに対応する必要があり、大変だと思ひますが引き続き取り組んでもらいたい。 ・良い結果がでたとと思ひます。引き続き継続してほしい。特別支援教育の理解・啓発ができていいると思ひます。 ・弱者を自然に助け支援することが当たり前でできる「強い暖かい心」を持った人間に成長してほしいと思ひます。 ・保護者に対する働きかけが功を奏していいるように思ひますので、更に工夫改善していってください。 ・障がいに対する理解が生徒において92%はすばらしいと思ひます。100%を目指してこれからも取り組んでください。
開かれた学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・食育セミナーに保護者も招いて、朝食の大切さやバランスのよい食事について、生徒と一緒に学習してはどうか。 ・学校では管理指導が難しいと思ひますが、引き続き啓発すべきだと思ひます。 ・スマホ等のメディア機器は、依存性や犯罪に巻き込まれることも多々あるが、これからの時代ではその活用が必須となっているので、将来も見据えた使用の習慣等を考えていくことが重要かと思ひます。 ・生徒だけの問題ではなく、家庭全体で取り組んでいくべきですね。特に保護者に対して、どのように、どこまで働きかけるか難しい課題だと思ひます。夜遅くまで起きていいるのはゲームが影響していいる可能性が高いので、家庭への啓発が必要になる。 ・平日は部活動や塾があり、0時までの就寝は難しいかもしれないが、段取りよく家庭学習を行ひ少しでも早く就寝できるよう指導してほしい。 ・サッカー部の貞光中学校からの帰り道でイノシシに遭遇した話を聞くので送迎など他の案はないか検討してほしい。 ・良い結果がでたとと思ひます。引き続き継続してほしい。 ・加害者になった時の学習も大切と思ひます。 ・命を守ることに對して、生徒に自覚があるといいうことなのですばらしいと思ひます。 ・自転車に乗っている生徒を見かけるが、みんなマナーが良く感心していいます。 ・先生の指導が行き届いていいる。子供の交通マナーは良いと思ひます。
開かれた学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の影響で学校行事の参加など少なかったが、引き続き学校・学年だより等で情報発信を行ってほしい。 ・発信はいい手段であり、これからも引き続き開かれた学校づくりを目指してください。 ・HPの更新は生徒にも手伝ってもらっても良いのではないのでしょうか。 ・毎回、詳細な報告をいただきありがとうございます。一年の大半、学校から離れていいる者にとって、学校の様子を知ることができるといいう貴重な資料になります。 ・引き続きよろしくお願ひします。情報公開はできていいると思ひます。 ・保護者等の方々には学校内の様子を知ってもらひたい手段であり、引き続き行っていただきたい。 ・コロナの影響により、なかなか対面のコミュニケーションは難しい状況ですが、Webによる交流も可能ですので、また、よろしければご相談ください。 ・引き続きよろしくお願ひします。連携は十分でできていると思ひます。

